



2018年度 指導コンセプト

『巧い早い強い選手の育成』

『選手の自主性と主体性』

TRP鶴川Jr 目指すフットボール

【巧い早い強い選手の育成】

個人への指導ポイント(サッカーの基本要素)

攻撃時に求めるもの

判断があるプレー

ボールを触らせないテクニック

シュートの巧さ

①テクニックの質向上(判断を伴った技術)

ドリブル、コントロール、キック、ヘディング

⇒サッカーのベースになるもの

④コミュニケーション

関わる・聞く・伝える

⇒戦術理解・ゲーム理解の要素

②ボールがない所での質

ポジショニング、サポート、声

⇒戦術のベースになるもの

⑤コンタクトスキル

倒れない、競り負けない、相手の力を利用する

⇒マイボールの時間とチャンスが増を増やす

守備時に求めるもの

判断があるプレー

1対1の強さ

シュートブロック

③観ながらプレーすること(判断の材料)

ゴール・相手・味方・スペース・ボール・ゲーム状況

⇒決断してプレーするための要素

⑥メンタル

全力でプレーすること、謙虚、向上心

⇒人間としての成長する要素

個人・年代別で要求レベルを変えながら、アプローチしています。

TRP鶴川Jr 目指すフットボール

Off The Pitch

【巧い早い強い選手の育成】

「神様は綺麗好き
神は細部に宿る」

①整理「要らないものは捨てる」

TRP→「不要な物はリュックにしま
う、又は持ってこない」

②あいさつ「当たり前」

TRP→「心を込めて元気に挨拶
する」

③整頓「要るものは誰もがわかる
ように置きを場きめる」

TRP→「一つの場所にまとめる」

結果、取り組む姿勢が良くなり、良いプレーが生まれる

④清掃「身の回りの物、場所をき
れいに掃除すること」

TRP→「最初より綺麗にする」

⑤清潔「衛星的に保つこと」

TRP→「手洗い、うがい、着替え」

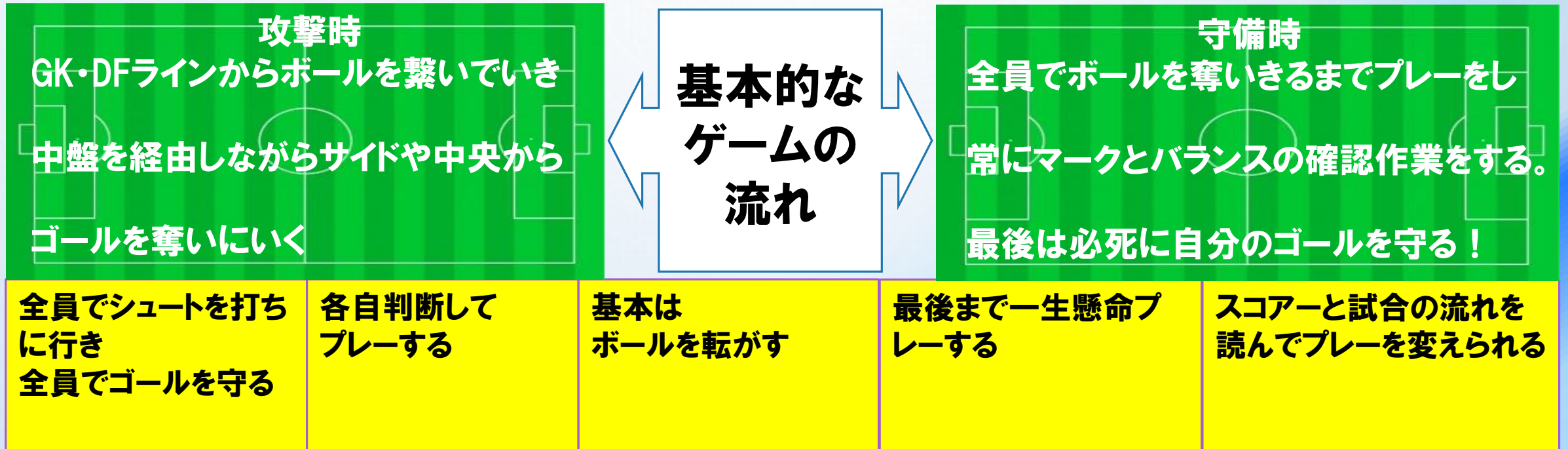
⑥しつけ「規律を守ること、習慣に
すること、継続的に改善すること」

TRP→「良い習慣を身に付ける」

TRP鶴川JR 目指すフットボール

【巧い早い強い選手の育成】

【自主性と主体性】



選手達で、ゲームの流れをイメージしながらプラン(戦術)を考え、成功&失敗を沢山繰り返しながら経験値を上げていく。最終的にはゲーム中やハーフタイムで選手同士で改善出来る様にアプローチしていく。

練習日が増えた事による成果と注意点 (4月～6月)

<良くなった点>

- ① 取り組む姿勢
- ② 基本技術の質
- ③ サッカー・ゲームの理解度・強度
- ④ トレーニングの理解度・強度
- ⑤ フィジカル

<！！注意点！！>

- ① 成長期における怪我
- ② 疲労蓄積による怪我
- ④ 帰り道の事故
- ⑤ オーバーワーク
- ⑥ やる過ぎによるモチベーションの低下
- ⑦ サッカー以外の遊びの減少

両方の状況を常に観察しながら個人個人とコミュニケーションを取って行きたいと思います。

1週間のトレーニングスケジュール

<キンダー～3年生>

月 …ドリル・個人・グループ技術ゲーム
金 …ドリル・個人・グループ戦術ゲーム
土・日…確認

<4年生～6年生>

月 …個人技術、ゲーム
水 …グループ・チーム戦術の確認(セットプレー)
金 …グループ戦術
土・日…確認

Mission(使命)

**人のため、自分のために考えて
行動・発言出来る人間を育てる**

Vision(目標)

プロ選手を育てる